



日鉄鉱業株式会社

# 2024年度（2025年3月期） 中間期 決算説明資料

証券コード：1515

2024年11月7日

# 決算説明資料 目次

- ・ 中間期決算（4月～9月）のポイント ……P.3
- ・ 2024年度 中間期 連結決算概要 ……P.4
- ・ 2024年度 中間期 セグメント別連結決算概要 ……P.7
- ・ 連結貸借対照表 ……P.15
- ・ 2024年度 中期経営計画の進捗 ……P.16
- ・ 2024年度 連結業績予想 ……P.18
- ・ 政策保有株式に関する方針 ……P.21
- ・ 株主還元方針 ……P.22
- ・ 2024年度 中間期 トピックス ……P.23
- ・ Appendix ……P.25

# 中間期決算（4月～9月）のポイント

- 連結で、前年同期に対して増収・減益（営業利益）
  - 鉱石部門は、販売価格の上昇で増収。鳥形山第3立坑建設工事の償却費などコスト増を吸収して増益。
  - 金属部門は、主に市況要因で増収。鉱山での銅価上昇と為替の円安があったものの、製錬における期中の急激な円高進行などによって減益。連結の減益も本要因に起因。
- 連結の通期業績予想および年間配当金の予想を上方修正
  - 好調な事業進捗を背景に、期初計画比で売上高+4.7%、営業利益+14.9%など上方修正。
  - 当期純利益の上方修正に伴い、年間配当金の予想も161円⇒181円に上方修正。

# 2024年度 中間期 連結決算概要

- 売上高は、鉱石部門における石灰石等の販売価格の上昇、金属部門における電気銅および電気金の国内販売価格の上昇等により、増収となった。
- 営業利益および経常利益は、増収となったものの、金属部門における為替変動の影響等により、減益となった。
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、経常利益が減益となったものの、火災に係る保険金の受領や保有株式の売却益の増加により、増益となった。

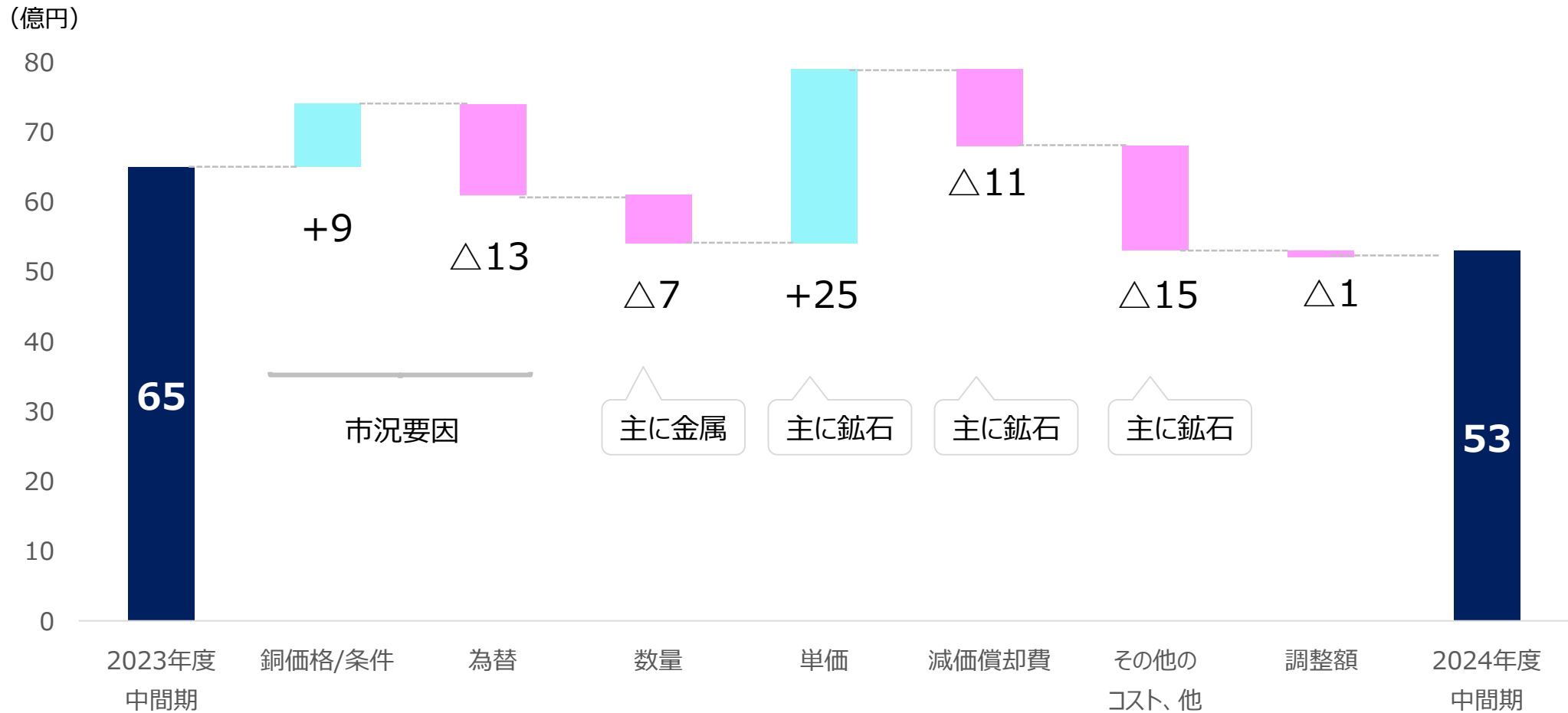
(単位：億円)

<業績>	2023年度 中間期	2024年度 中間期	増減
売上高	823	952	129
営業利益	65	53	△12
経常利益	71	65	△5
親会社株主に帰属する中間純利益	46	57	10

<指標等>	2023年度 中間期	2024年度 中間期	増減
銅価格 (¢/lb)	381.79	429.89	48.10
為替レート (円/米ドル)	140.99	152.63	11.64

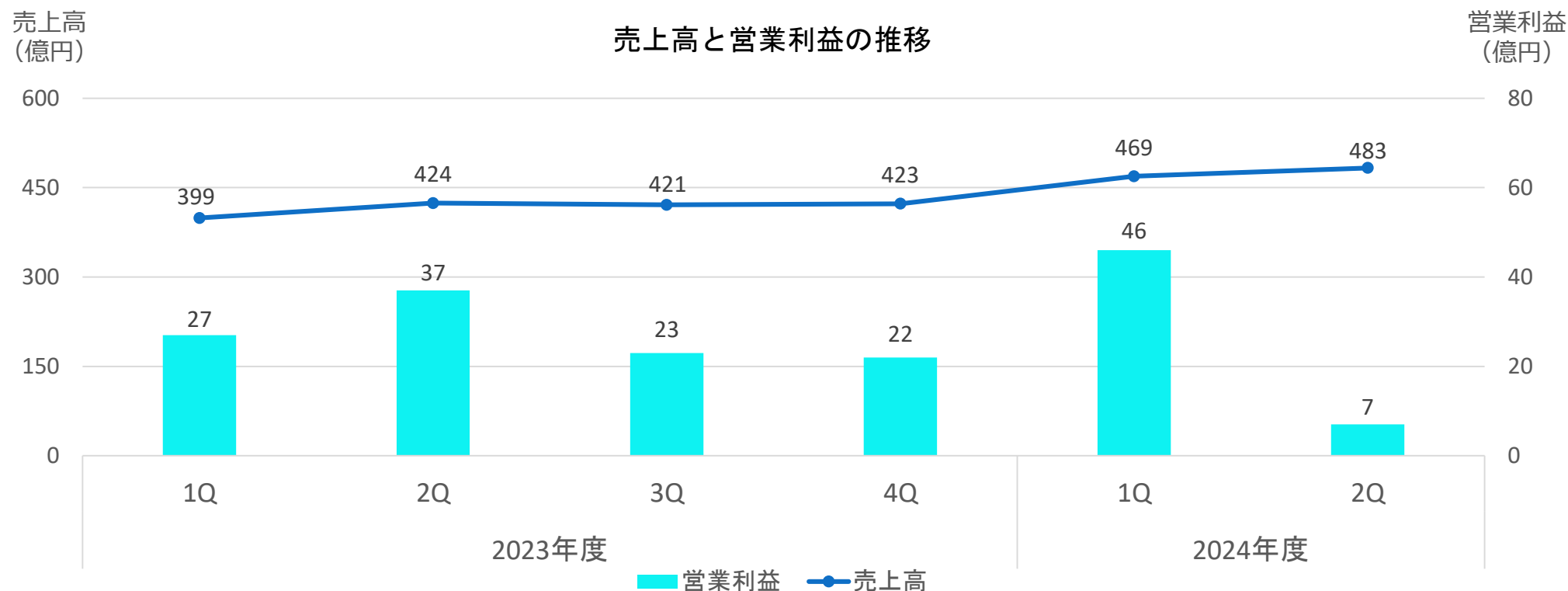
# 2024年度 中間期 連結決算概要

## 営業利益 増減要因



# 2024年度 中間期 連結決算概要（四半期業績推移）

- 2023年度は、資源事業および機械・環境事業における販売価格の上昇等により増収となったが、金属部門における生産コストの増加等により、全体的に利益水準は低調に推移した。
- 2024年度は、資源事業および機械・環境事業における販売価格の上昇等により増収となったが、営業利益は金属部門の為替変動の影響等により、第1四半期は増益となった一方、第2四半期は減益となった。また、第2四半期より鉱石部門における操業コストの増加等により、減益となっている。



# 2024年度 中間期 セグメント別連結決算概要（売上高）

（単位：億円）

	2023年度 中間期	2024年度 中間期	増減	増減説明
資源事業：鉱石部門	308	316	8	石灰石 増収：販売価格の上昇 燃料その他 減収：石炭販売価格の下落等
資源事業：金属部門	428	541	113	電気銅 増収：国内販売価格の上昇 銅精鉱 増収：銅価および円安の影響 その他 増収：電気金の増販および国内販売価格の上昇
機械・環境事業	62	70	7	環境商品 増収：環境商品の増収等 産業機械 前年同期なみ
不動産事業	14	14	△0	前年同期なみ
再生可能エネルギー事業	9	9	△0	前年同期なみ
合計	823	952	129	

# 2024年度 中間期 セグメント別連結決算概要（営業利益）

（単位：億円）

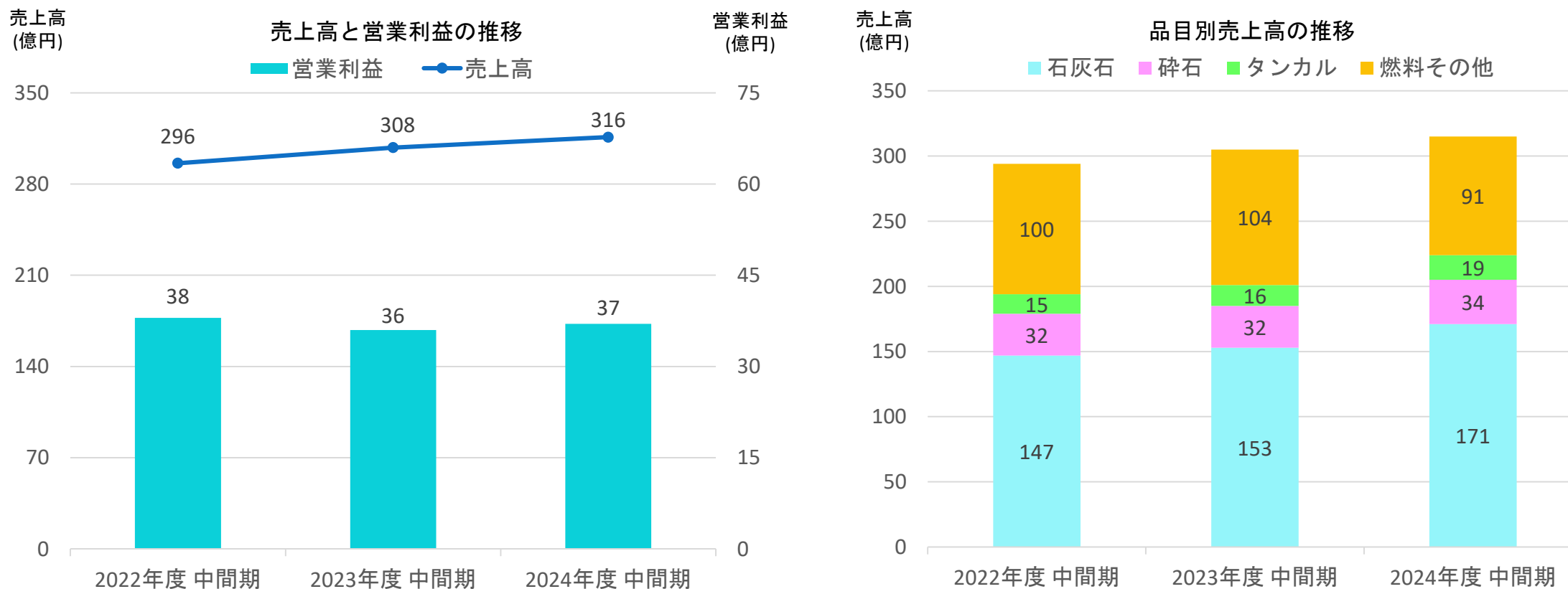
	2023年度 中間期	2024年度 中間期	増減	増減説明
資源事業：鉱石部門	36	37	1	石灰石、碎石等の販売価格上昇により増益
資源事業：金属部門	19	4	△15	為替変動の影響等により減益
機械・環境事業	6	9	2	増収等により増益
不動産事業	8	8	0	前年同期なみ
再生可能エネルギー事業	3	3	0	前年同期なみ
調整額	△9	△10	△1	前年同期なみ
合計	65	53	△12	



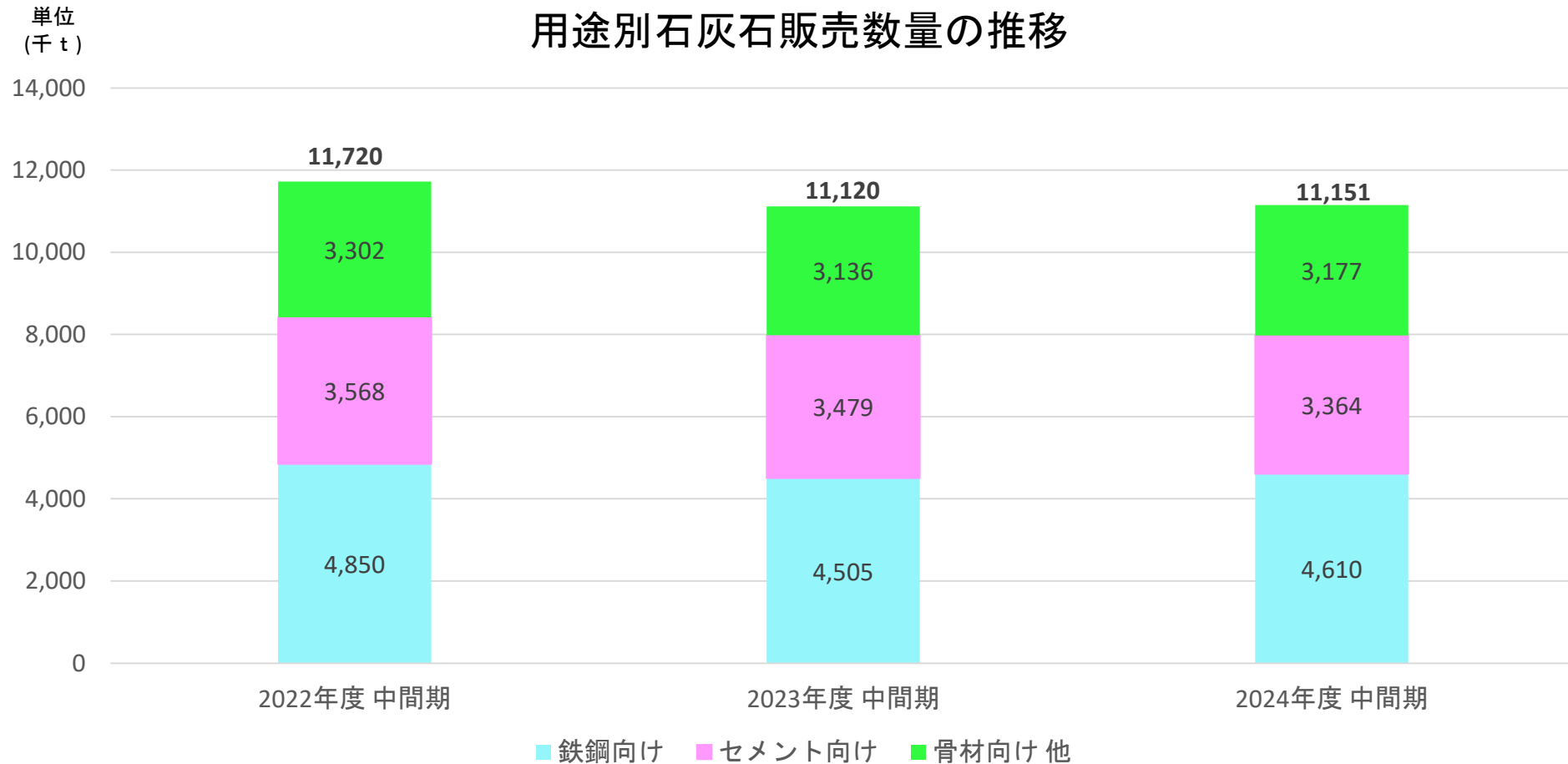
# 2024年度 中間期 セグメント別連結決算概要

## 資源事業：鉱石部門

- 鉱石部門は、主力生産品である石灰石、砕石等の販売価格の上昇等により、売上高、営業利益ともに増加した。



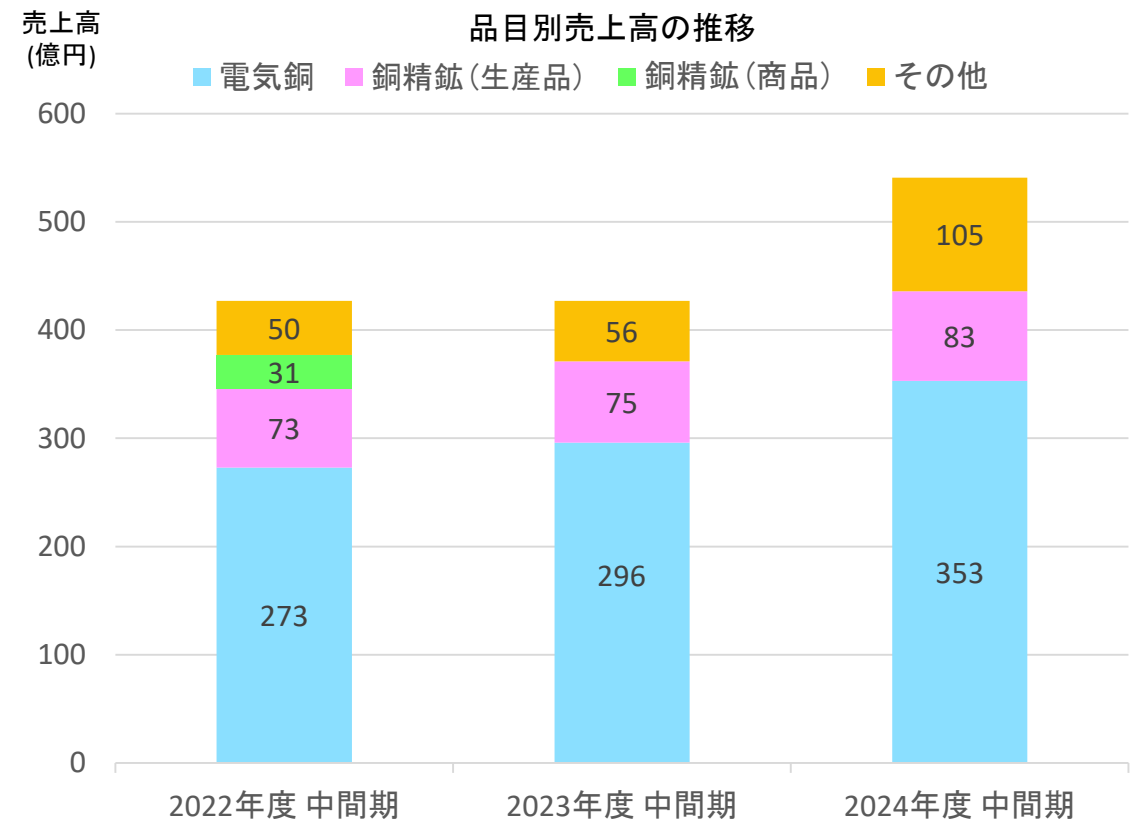
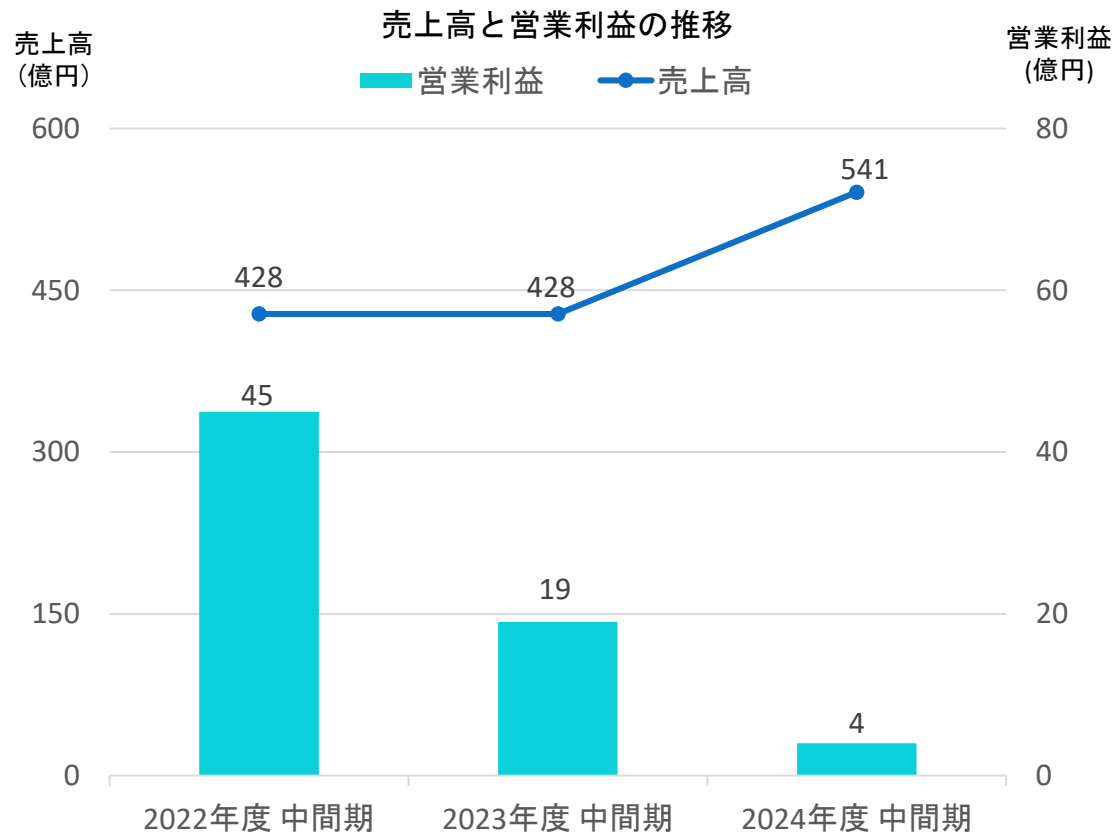
# 資源事業：鉱石部門 (参考) 用途別石灰石販売数量の推移



# 2024年度 中間期 セグメント別連結決算概要

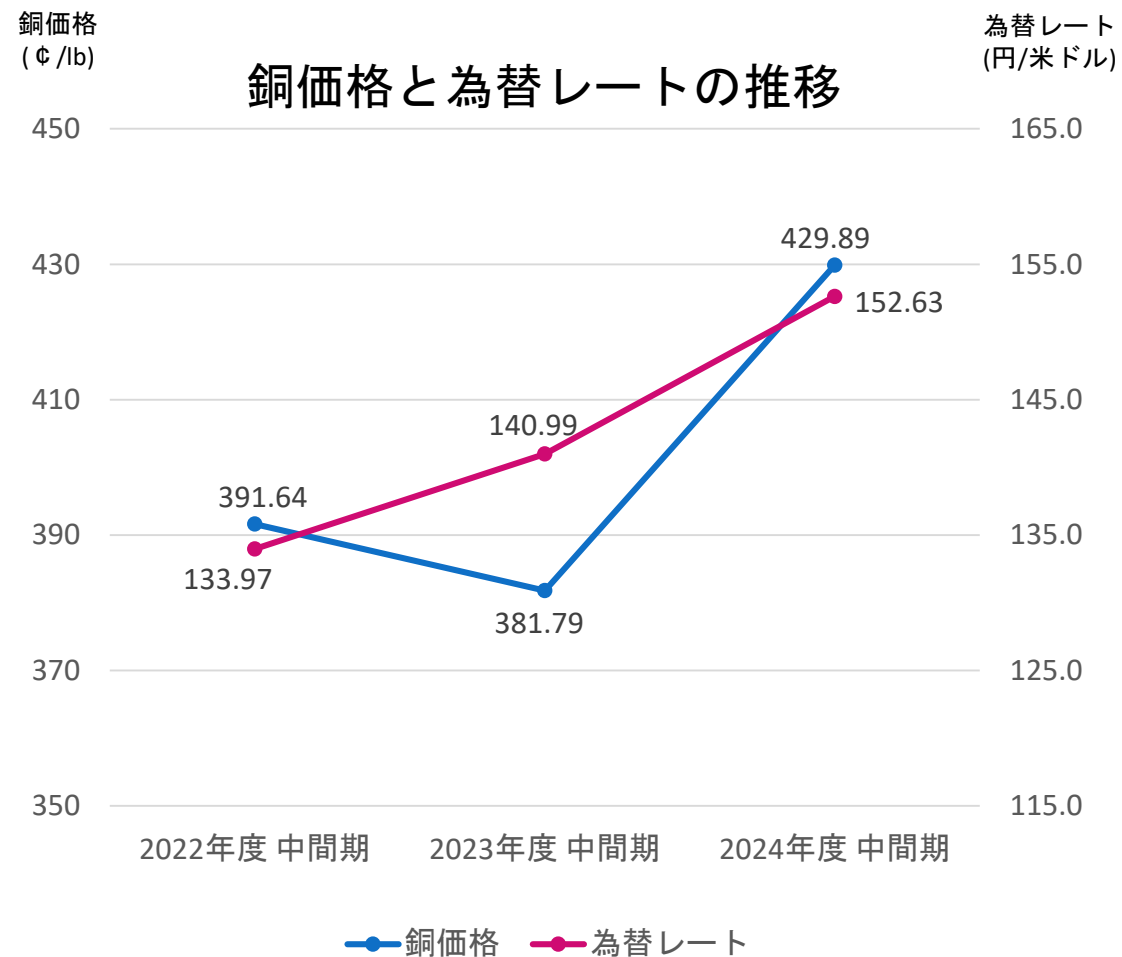
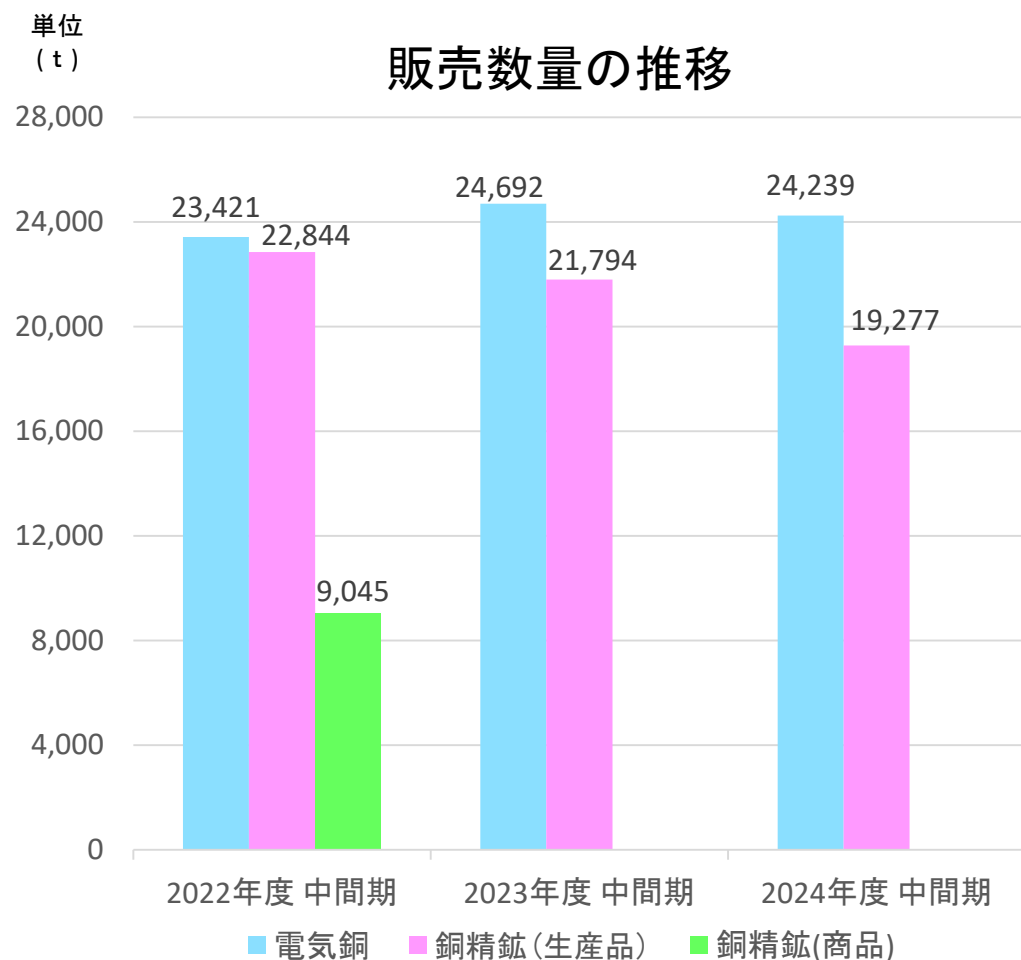
## 資源事業：金属部門

- 金属部門は、売上高は電気銅、電気金の国内販売価格の上昇等により増加し、営業利益は為替変動の影響により減少した。



# 資源事業：金属部門

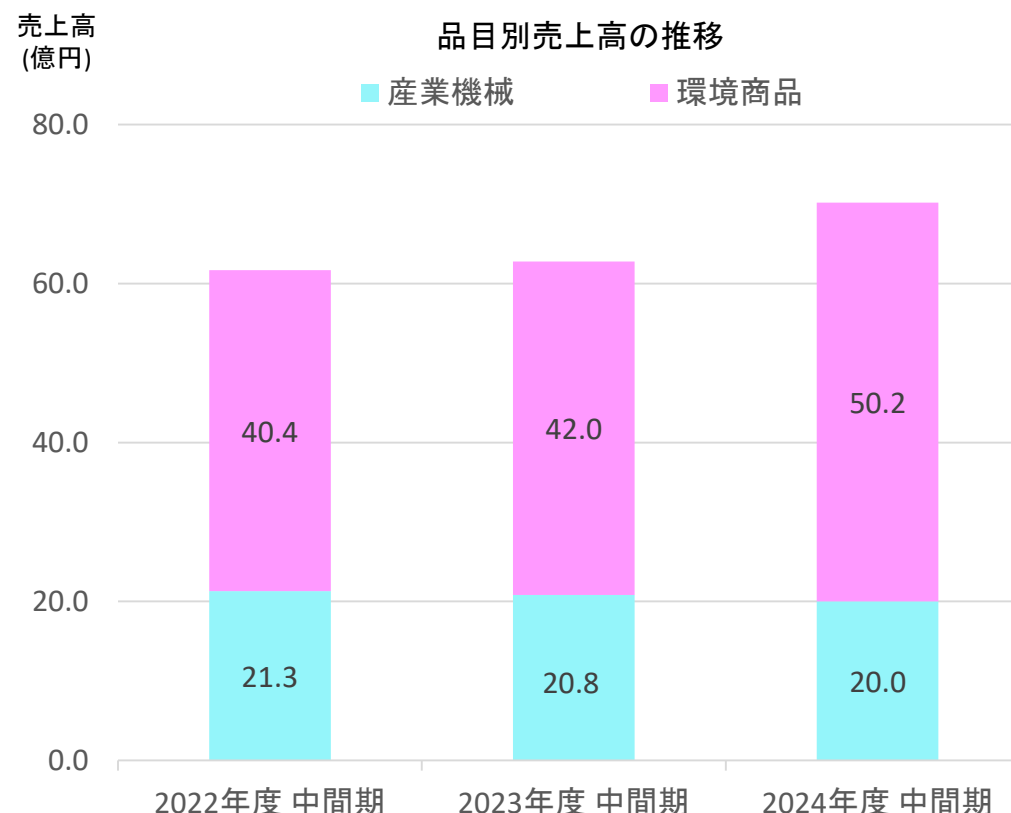
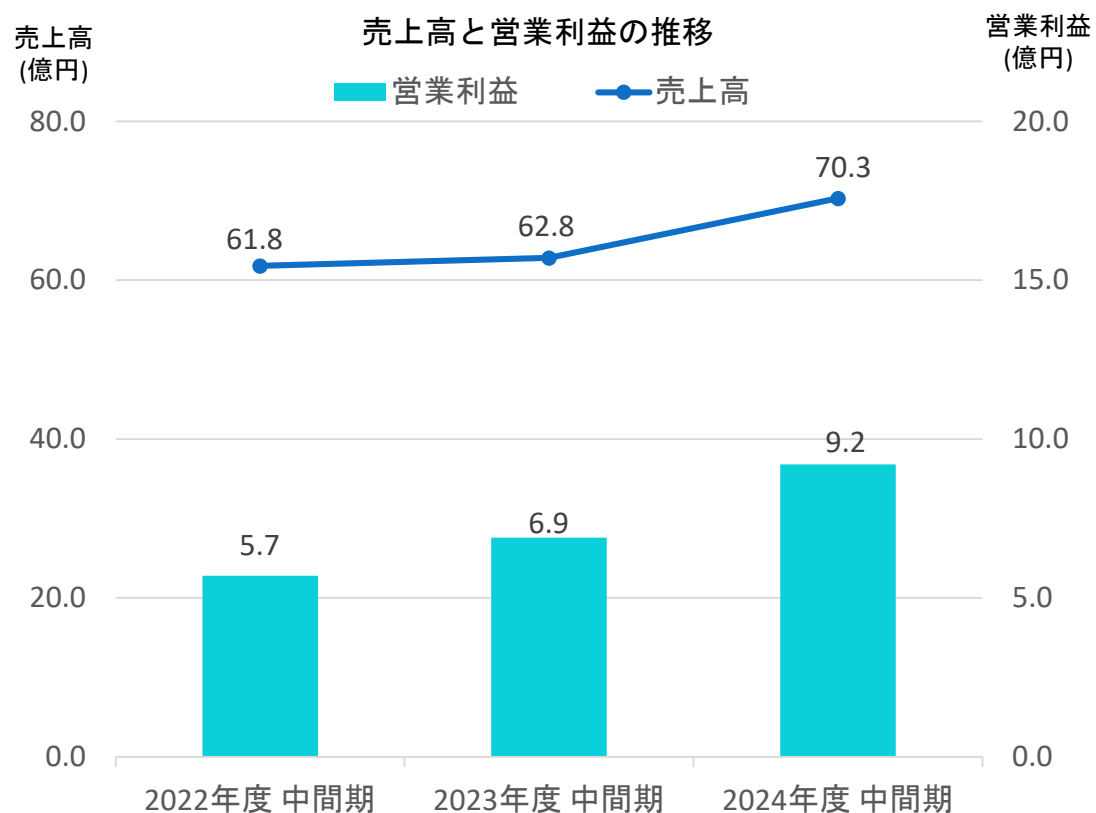
## (参考) 販売数量の推移、銅価格と為替レートの推移



# 2024年度 中間期 セグメント別連結決算概要

## 機械・環境事業

- 機械・環境事業は、環境部門の販売が好調であったことに加え、一部機械関連子会社の販売も順調に推移したことにより、売上高、営業利益ともに増加した。

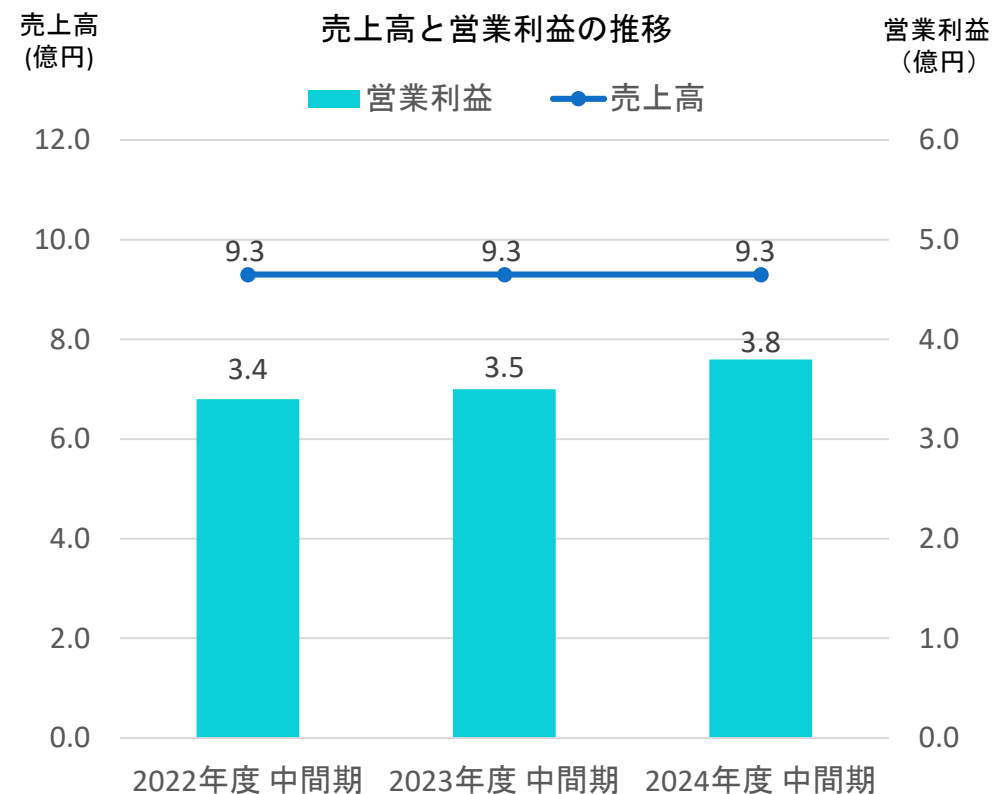
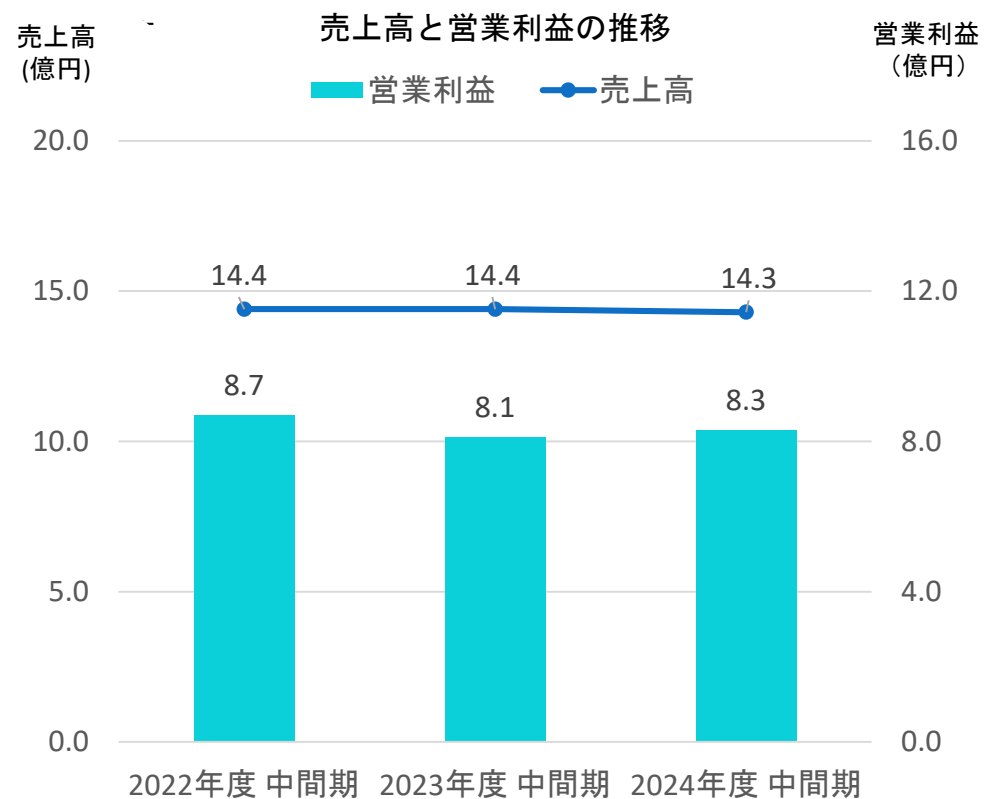


# 2024年度 中間期 セグメント別連結決算概要

## 不動産事業、再生可能エネルギー事業

- 不動産事業は、売上高、営業利益ともに前年同期なみ

- 再生可能エネルギー事業は、売上高、営業利益ともに前年同期なみ



# 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2024年3月31日	2024年9月30日	増減
<b>流動資産 計</b>	<b>1,050</b>	<b>1,050</b>	<b>△0</b>
現金及び預金	374	305	△68
受取手形、売掛金及び契約資産	338	330	△8
棚卸資産※	282	350	68
<b>固定資産 計</b>	<b>1,244</b>	<b>1,283</b>	<b>38</b>
有形固定資産	708	765	57
無形固定資産	40	42	1
投資その他の資産	496	475	△20
<b>流動負債 計</b>	<b>542</b>	<b>530</b>	<b>△12</b>
支払手形及び買掛金	205	197	△8
短期借入金	170	169	△1
<b>固定負債 計</b>	<b>246</b>	<b>238</b>	<b>△7</b>
長期借入金	25	22	△3
退職給付に係る負債	12	13	0
<b>純資産</b>	<b>1,507</b>	<b>1,565</b>	<b>58</b>
自己資本	1,407	1,456	48
非支配株主持分	99	109	9
<b>総資産</b>	<b>2,295</b>	<b>2,334</b>	<b>38</b>

※棚卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

# 2024年度 中期経営計画の進捗（連結）

- 2024年度計画の営業利益の中間期時点での進捗率は72%。

⇒主な要因：鉱石部門 主力生産品である石灰石の販売価格上昇等により増益

金属部門 電気銅等は国内販売価格の上昇等により増収、製錬事業は為替変動の影響を受けたが、アタカマ鉱山の操業コスト減少等により増益

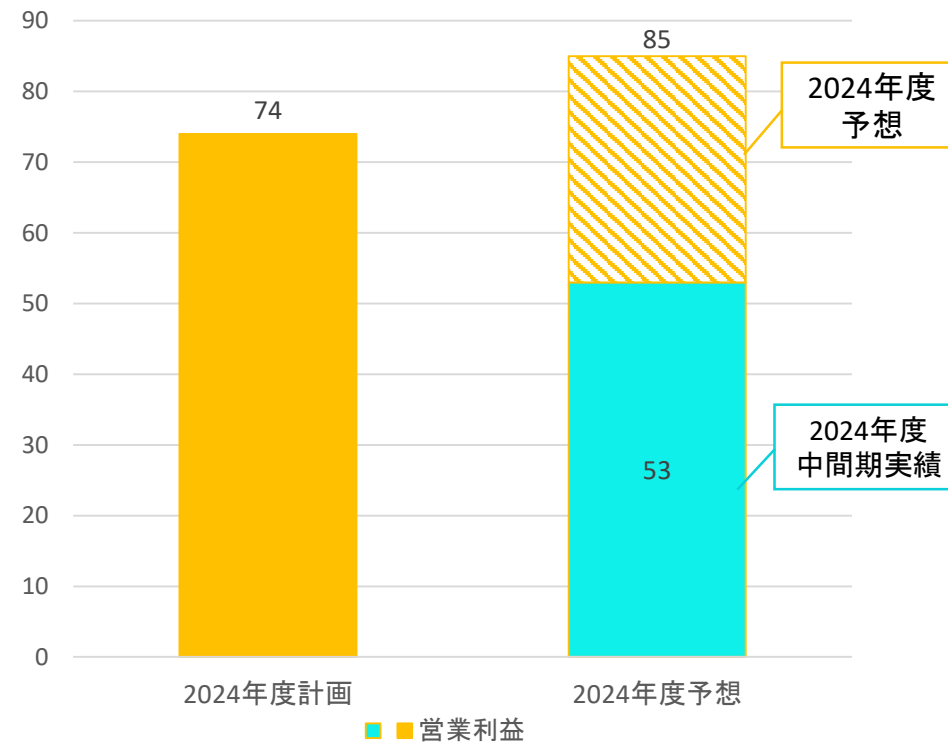
(単位：億円)

<業績>	2024年度計画	2024年度 中間期実績	進捗率
売上高	1,814	952	52%
営業利益	74	53	72%
資源事業：鉱石部門	67	37	55%
資源事業：金属部門	1	4	4倍
機械・環境事業	13	9	69%
不動産事業	16	8	50%
再生可能エネルギー事業	3	3	100%
調整額	△26	△10	38%

<前提条件>	2024年度計画	2024年度 中間期実績	増減
銅価格（¢/lb）	400.00	429.89	29.89
為替レート（円/米ドル）	140.00	152.63	12.63

営業利益  
(億円)

2024年度中期経営計画の進捗





# 2024年度 中期経営計画の進捗（資金・設備投資）

## ■ 資金計画

（単位：億円）

	2024年度計画	2024年度 中間期実績	進捗率
EBITDA	163	92	56%
有利子負債残高	372	212	57%

- EBITDAは、営業利益の増益により順調に推移。
- 有利子負債は、アルケロス鉱山開発工事遅延等により、現時点では計画比減。今後の工事本格化でキャッチアップの予定。
- 設備投資は、鉱石部門が順調に推移する一方、金属部門でアルケロス鉱山開発工事遅延等により、現時点での進捗率はスロウ。

## ■ 設備投資計画（生産準備投資含む）

（単位：億円）

	2024年度計画	2024年度 中間期実績	進捗率
資源事業：鉱石部門	48	26	54%
資源事業：金属部門	175	58	33%
機械・環境事業	1	0	—
不動産事業	1	0	—
再生可能エネルギー事業	2	0	—
共通・セグメント間消去	△0	△0	—
計	227	84	37%

## ■ 成長投資の進捗

	2024年度計画	2024年度 中間期実績	投資予定総額	累計	進捗率	完工予定	竣工
鳥形山第3立坑建設工事（億円）	7	9	200	202	—	—	2024年6月
八戸鉱山新規鉱区開発（億円）	5	2	66	61	93%	2025年度	—
アルケロス鉱山開発工事（百万米ドル）	122	36	395	42	10%	2026年度	—

# 2024年度 連結業績予想（修正）

（単位：億円）

	2024年5月13日 前回発表予想	2024年11月7日 発表時点予想	増減
売上高	1,814	1,900	86
営業利益	74	85	11
経常利益	82	100	18
親会社株主に帰属する当期純利益	67	75	8
1株当たり当期純利益（円）	402.74	450.84	48.1
銅価格（¢ / lb）	400.00	410.00	10.00
為替レート（円 / 米ドル）	140.00	150.00	10.00
1株当たり配当額（円）	161.00	181.00	20.00

## 売上高：86億円上方修正

- 鉱石部門 △18億円：子会社の減収等
- 金属部門 +108億円：電気銅、電気金の国内販売価格の上昇等
- 機械・環境事業△4億円：機械関連子会社の減収等

## 営業利益：11億円上方修正

- 鉱石部門 +2億円：石灰石の販売価格上昇
- 金属部門 +2億円：アタカマ鉱山の操業コスト減少
- 機械・環境事業 +2億円：販売価格の上昇
- 調整額 +5億円：調査費の減少

## 経常利益：18億円上方修正

- 為替差益増加、持分法投資利益の増加

## 当期純利益：8億円上方修正

- 税金費用増加、非支配株主に帰属する当期純利益増加

# 2024年度 連結業績予想（修正）

（単位：億円）

	2023年度実績	2024年度予想	増減
売上高	1,668	1,900	231
営業利益	111	85	△26
経常利益	120	100	△20
親会社株主に帰属する当期純利益	66	75	8
1株当たり当期純利益（円）	396.88	450.84	53.96
銅価格（¢/lb）	379.28	410.00	30.72
為替レート（円/米ドル）	144.62	150.00	5.38
1株当たり配当額（円）	169.00	181.00	12.00

## ■ 感応度（第3四半期以降）

（単位：億円）

銅価格	10 ¢ / lb 上昇	売上高への影響 営業損益への影響	+10.0 +2.1
為替レート	5円 / 米ドル円安	売上高への影響 営業損益への影響	+11.9 +0.7

※第3四半期以降の相場見通し 銅価格400 ¢ / lb（通期410 ¢ / lb）、為替レート150円 / 米ドル（通期150円 / 米ドル）

# 2024年度 連結業績予想（修正、セグメント別）

## ■セグメント別売上高、営業利益

（単位：億円）

	売上高		
	2023年度 実績	2024年度 予想	増減
資源事業：鉍石部門	615	658	42
資源事業：金属部門	883	1,070	186
機械・環境事業	140	144	3
不動産事業	28	28	—
再生可能エネルギー事業	17	17	—
調整額	△17	△17	—
合計	1,668	1,900	231

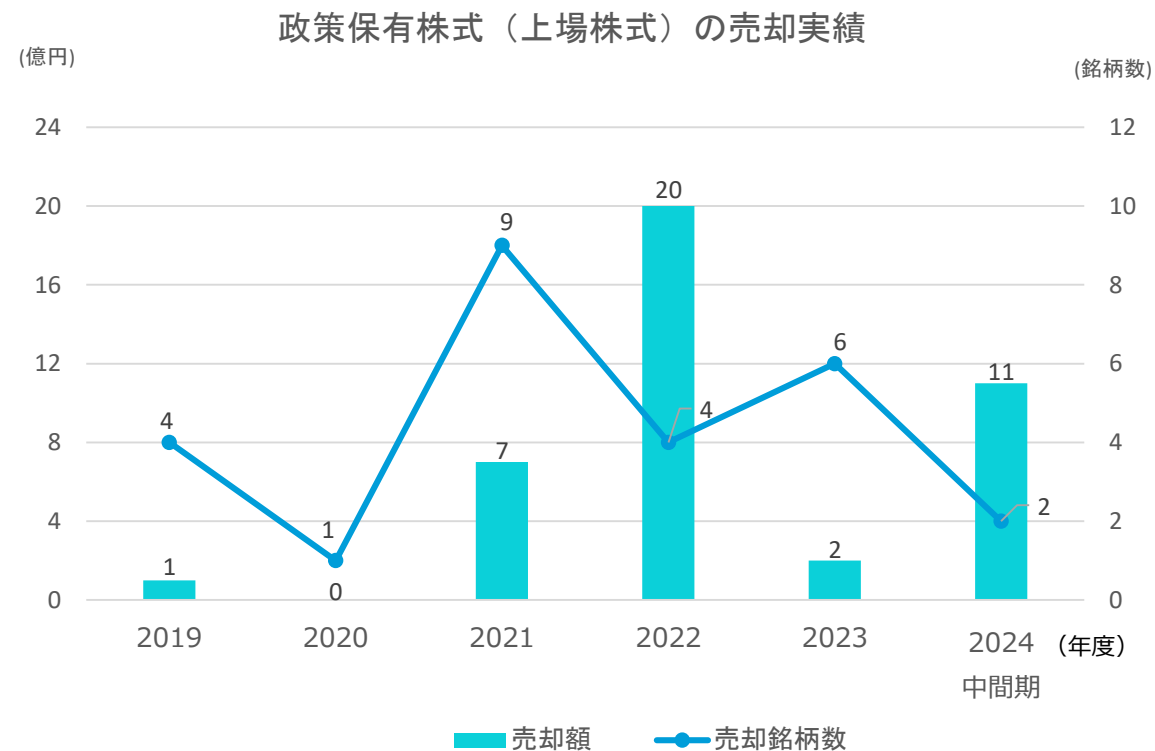
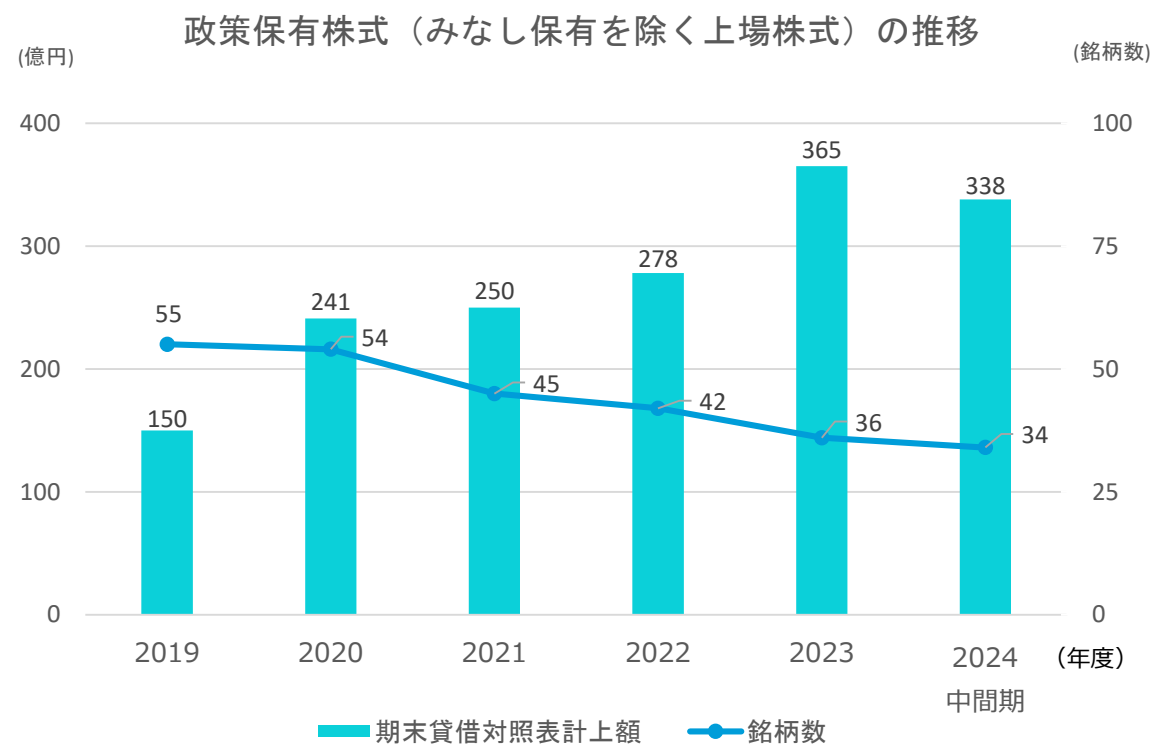
	営業利益		
	2023年度 実績	2024年度 予想	増減
	59	68	8
	29	3	△26
	14	15	1
	16	16	—
	5	3	△2
	△15	△20	△5
	111	85	△26

# 政策保有株式に関する方針

当社は、統合報告書にも記載しておりますが、2022年度～2026年度の5年間で60億円（2022年3月末時価基準）の政策保有株式を縮減する計画としています。

2024年度においては、中間期までに2銘柄、11億円（2022年3月末時価は12億円）を売却しました。

政策保有株式の議決権の行使については、当社および投資先企業の中長期的な企業価値向上に繋がるか、また当社の株式保有の意義が損なわれないかを判断基準として、適切に行使します。



# 株主還元方針

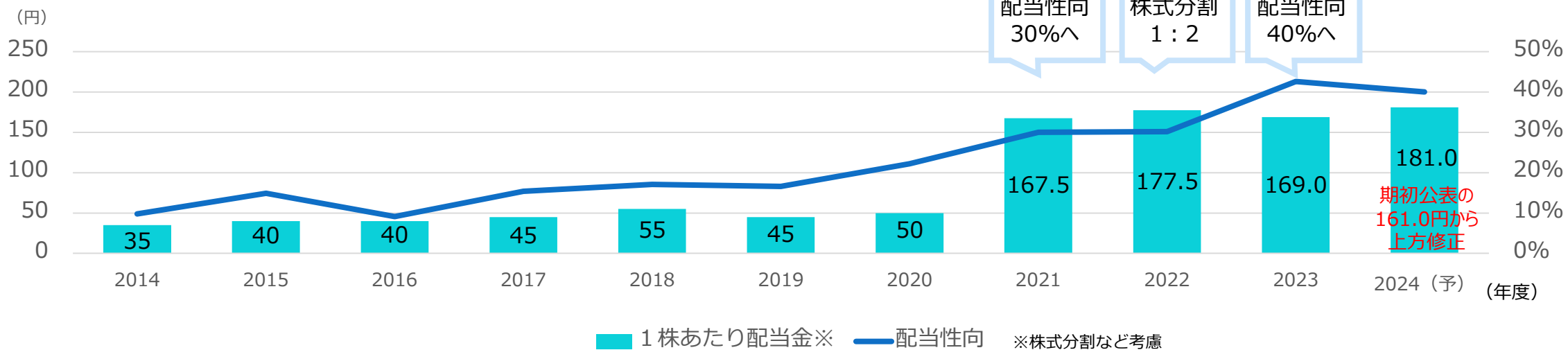
連結配当性向40%を目途に還元、時価換算DOE3%またはDOE3%を配当下限值

当社は、株主の皆様への利益還元の拡大を図りながら、長期安定的な配当方針を明確にするため、連結配当性向40%を目途に配当を実施するものとし、また、年度末時点のPBRが1倍未満の場合には、時価換算DOE※<sup>1</sup>3%を配当下限值とし、年度末時点のPBRが1倍以上の場合には、DOE※<sup>2</sup>3%を配当下限值としております。

※1. 時価換算DOE = 1株当たりの年間配当金 ÷ 年間平均株価（日毎終値の単純平均）

※2. DOE = 1株当たりの年間配当金 ÷ 1株当たりの年度末連結純資産額（非支配株主持分除く）

配当金・配当性向の推移



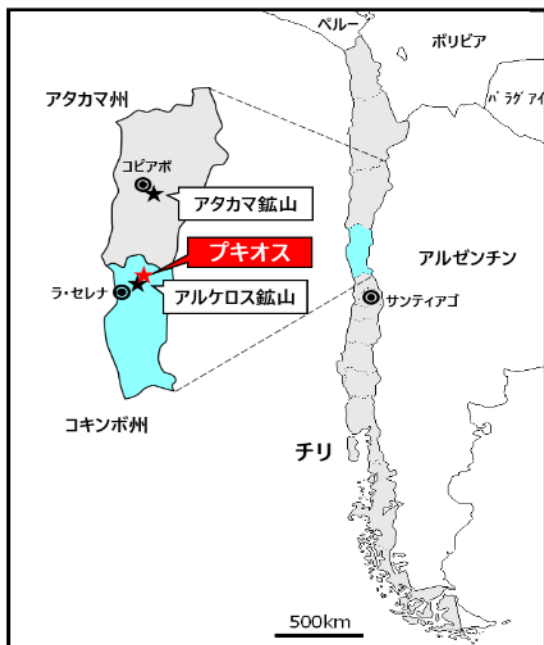
# 2024年度 中間期 トピックス (1)

## ■ チリで新たに、「プキオス銅鉱山開発プロジェクト」契約を締結

- ✓ アタカマ鉱山（操業中）、アルケロス鉱山（開発中）に次ぐ案件
- ✓ ブラウンフィールド案件（現在は、開発ステージに向けた建設準備段階）
- ✓ ペルーの銅鉱山案件でもパートナーのCamino社と、50:50の権益割合で本プロジェクトを取得



### 鉱山開発のパイプライン



	情報収集	地質調査	初期探鉱	本格探鉱	鉱床評価	経済性評価	開発
日本	🇯🇵 国内の各地域（けい石）						
中東	🇸🇦 サウジアラビア（銅）						
太平洋						🇫🇯 フィジー（銅・金）	
南米			🇵🇪 ペルー（Los Chapitos、銅）				🇨🇱 チリ（アルケロス、銅） 🇨🇱 チリ（プキオス、銅）
アフリカ						🇲🇦 モロッコ（錫）	



# 2024年度 中間期 トピックス (2)

## ■ IR活動の強化

- ✓ 資本市場との対話の充実（面談数 前年同期比約2倍）。得られたご意見を経営や情報発信の改善に活用
- ✓ 情報発信の強化（投資家FAQ\*の掲載 [https://ssl4.eir-parts.net/doc/1515/ir\\_material2/234506/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/1515/ir_material2/234506/00.pdf)）

\*半期ごとを目途に更新を計画

## ■ 統合報告書2024の発行（[https://www.nittetsukou.co.jp/ir/library/pdf/2024\\_integrated\\_report.pdf](https://www.nittetsukou.co.jp/ir/library/pdf/2024_integrated_report.pdf)）

- ✓ メッセージセクションを中心とした内容の充実。特集は大型投資を実行した鳥形山鉱業所の取り組みについて





# Appendix 用語集 (1/5)

資源事業（鉱石部門）	説明
1 石灰石	石灰石は鉄鋼・セメントといった素材産業において必要不可欠な主・副原料として使用されている。そのほかにも、土木・建設用の骨材などの用途でも使われており、日常生活に密着した鉱物資源となっている。
2 砕石	一般には工場で岩石を破碎して製造するコンクリート向けの粗骨材。当社では砕砂（細骨材）も含む品目をさす。これらは強度アップなど質向上を目的に、コンクリートまたはモルタルを作る際にセメントおよび水と混ぜ合わせる材料として使われている。
3 タンカル	石灰石を粉状にしたもの。アスファルト、発電所・ごみ処理施設などにおける脱硫剤、肥料、飼料、ガラス、製紙、薬品、食品など、さまざまな用途で使用されている。
4 燃料その他	石炭、石油製品など（仕入れ販売）。
5 骨材向け （石灰石の用途の一つ）	強度アップなど質向上を目的に、コンクリートまたはモルタルを作る際にセメントおよび水と混ぜ合わせる。
6 鳥形山鉱業所	高知県にある当社の主力の石灰石鉱山。標高1,000m超の採掘現場（切羽）から掘り出された石灰石は、約23kmの長距離ベルトコンベア（LBC）で海岸の選鉱・出荷設備まで運搬され、国内外のお客様へと出荷される。 ※鳥形山鉱業所パンフレット <a href="http://torigata.pdf(nittetsukou.co.jp)">torigata.pdf (nittetsukou.co.jp)</a>
7 立坑	垂直に掘削した坑道。鳥形山鉱業所では、切羽から採掘した石灰石を立坑に投入し、直下に設置した大型破碎機でLBCでの運搬に適した80mm以下の大きさに破碎している。同鉱業所では24年6月に第3立坑が竣工。

# Appendix 用語集 (2/5)

資源事業（金属部門）	説明
1 鉱山（事業）	南米チリ共和国のアタカマ鉱山の操業（銅鉱石の採掘、銅精鉱の生産・販売）、同国のアルケロス鉱山の開発を行っている。
2 銅精鉱	銅鉱山で採掘された銅鉱石を選鉱し、銅品位を高めたもの。アタカマ鉱山では約30%銅品位の銅精鉱を生産している。
3 アタカマ鉱山	チリにある操業中の銅鉱山で、60%の権益を持つ。2003年度より操業を開始し、現在でも年間1.3万トン程度を生産（銅量換算）。
4 アルケロス鉱山	チリにある開発中の銅鉱山で、80%の権益を持つ。2026年度の操業開始を目指している。年間1.5万トン程度の生産（銅量換算）を計画。
5 Los Chapitos 銅探鉱プロジェクト	ペルーにある初期探鉱段階の銅プロジェクト。パートナーのCamino Minerals Corporationと参入契約を締結し、3年間で10百万カナダドルを同社に支払って35%の権益を取得予定（本資金は探鉱活動等に充当）。
6 Puquios 銅鉱山開発プロジェクト	チリにある建設準備段階の銅プロジェクト。Camino Minerals Corporationがパートナー。同社とJVを設立し、本プロジェクトを50：50の権益割合で取得する一連の契約を締結。 ※本プロジェクトは、開発決定後に本セグメントに計上予定。それまでは「全社（共通）」に計上。
7 Camino Minerals Corporation	ペルーを活動拠点とする探鉱・開発段階に特化した銅探鉱会社（本社はカナダ）。世界中に銅を供給するため、優良な銅資源取得を目指している。同社website: <a href="http://www.caminocorp.com">www.caminocorp.com</a>

# Appendix 用語集 (3/5)

資源事業（金属部門、続き）	説明
1 製錬（事業）	当社で仕入れた銅精鉱・銅スクラップを、持分法適用会社（持分20.28%）の日比共同製錬へ生産委託し、出来上がった電気銅をユーザーに販売している。
2 電気銅	主に電気導体として使用される高純度の銅。電気を効率的に通すため、電線や電気機器、電子部品など用途は広い。
3 副産物	硫酸など、電気銅を製錬する際に生成されるもの。
4 TC/RC （Treatment Charge, Refining Charge）	鉱山会社から銅精鉱を購入する際の条件の一つで、銅の価格から差し引く加工費相当。長期買鉱契約では、大手鉱山会社と大手製錬会社間で年1回妥結した条件がベンチマークとされ、その他の会社も同様の条件で合意するのが慣例。長期契約の他にもスポットの契約がある。どちらの契約も銅精鉱の需給バランスなどに影響され、需給がタイトな場合はTC/RCは低位となる傾向にある。
5 販売プレミアム	LME（London Metal Exchange、ロンドン金属取引所）で取引される銅の価格に上乗せされる追加料金。大手製錬会社が、主要エリアで毎年発表している指標価格。

# Appendix 用語集 (4/5)

機械・環境事業		説明
1	環境部門	当社が独自に開発した鉄系無機凝集剤「ポリテツ」を中心に水処理剤を販売。
2	ポリテツ	鉄系無機凝集剤の水処理剤「ポリテツ」。「ポリテツ」は下水や工業排水の処理が主な用途だが、消臭剤、さらには土壌改良剤として用途が拡大中。次世代型の「ポリテツT」は、リンや大腸菌などの更なる低減や、高濃度化することで使用量減や輸送コスト効率化を実現。
3	機械部門	機械部門では、集じん機等の環境対策商品を中心とし、超微粉分級機など一般産業機械まで幅広いニーズに対応。
不動産事業		説明
1	不動産事業	社有不動産の有効利用が目的。都市部の社有地ではオフィスビルやマンション等の経営、全国各地の鉱山跡地や遊休地では飲食・物販店舗、工場・倉庫、駐車場等の市場ニーズを捉えた賃貸事業を展開。

# Appendix 用語集 (5/5)

再生可能エネルギー事業		説明
1	再生可能エネルギー事業	資源開発で培った地下探査技術を活かした地熱エネルギーの調査・開発および地熱蒸気の供給・販売や、鉱山跡地等の遊休地を活用した太陽光発電、坑内湧水を利用した小水力発電など、地球環境に配慮した自然エネルギーの開発を推進。
2	大霧発電所	鹿児島県にある九電みらいエナジー(株)の地熱発電所(30,000kW)。当社は1973年から鹿児島県の霧島地域において地熱エネルギーの調査を開始し、1996年より本発電所への蒸気供給を開始し、全量を賅っている。
3	白水越地熱発電	大霧発電所のある銀湯地区の南東方2kmに位置する白水越地区は、銀湯地区に匹敵する高温で優勢な蒸気の噴出が確認されており、本地区での新たな地熱開発を目標として調査中。

# 注意事項

## 将来に関する記述等についてのご注意

- 本資料における業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



日鉄鉱業株式会社